

ジャコウアゲハ

Byasa alcinous



種名

分類 | アゲハチョウ科

形態

前翅長 42～60mm。尾状突起が長く、雄は地色がピロード様の黒褐色、後翅の垂外縁に赤色斑がある。♀は地色が黄褐色、後翅に黄色斑がある。春型は小型で、地色が淡い。胸部から腹部の側面にかけて、黄色(または赤色)毛がある。♂は後翅内縁に褐色の毛があり、その部分が折り返す。

分布

本州(秋田～岩田県以南)、四国、九州、南西諸島(種子島・屋久島～与那国島)。

出現期

本州の暖地では年3～4回の発生、寒冷地では5～8月に年2化する。越冬態は蛹。奄美所と以南ではほぼ周年見られるが、数の増減がある。

生態

あまりはばたかず、ゆるやかに飛ぶ。蝶道はつくらず、林内や林縁を低く飛び回る。ツツジ類、アサミ類などで吸蜜する。

食樹

ウマノスズクサ科のウマノスズクサ、オオバウマノスズクサ、リュウキュウウマノスズクサなど。

幼虫
(幼生期)

体長 40mm。黒色の地色に、白色の横帯がある。肉質の突起がたくさんあり、その先端が赤い。白色帯の幅が広く、尾部付近も白斑がある。

出現時期

(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	-	-	-	-
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ